

使用ツール

## ロイロノートスクール

活用シーン

- 自分が紹介したいキャラクターや有名人などについて、Who is this?クイズを作成し、タブレットを見せながら出題し合う。
- can や can't を用いて表現できる情報をヒントとして取り入れ、クイズを作成する。その際に、イラストと一緒に見せ、言語による情報だけでなく、視覚的な情報も伝えるようにし、英語への苦手意識がある児童も取り組みやすいようにする。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- タブレットで見せるイラストを補助的な情報としながら、can や can't などの表現を使い、楽しみながらクイズを出題し合うことができた。
- 英語への苦手意識がある児童も、can や can't を使ったヒントからクイズの答えを考えることを通して、出題している児童が伝えたい内容について理解することができた。
- ヒントを英語で伝えられたこと・クイズの答えが分かったことによる喜びを感じていた。また、クイズを通して、相手のことについて理解できた。

